家族は外米ばかり
組合本部でけい肺懇談会

けい肺法がつくられてから一年がたつた。三鉱連と会社との協定書もつくられて実施されているが、坑内では相変らず後から後から私たちの仲間がこの恐むべき病魔にむしばまれて行き、既に病床にある人も苦しい生活と病気の二重の闘いを続けている。七月一日（日曜）組合本部会議室で午前十時からこれらけい肺の人たち百数十名の出席を願つて治療、予防の方法や、また苦情の問題が出された。厚生部ではなお山の上、天領病院の患者からも苦情をきく今後早急にこの解決え努力することになつた

切々たる苦情ばかり

懇談会を開く以前から四山支部の患者の人たちから

◎栄養費の増額　◎傷害年金請求の診断書や手続料の免除　◎組合共済会から借る金額の返済延期

◎退職金の前借りなど十四項目の切実な要求が提出されていたもので、患者としては早くからこの日の懇談会を心の中で願つていた様子であつた。

このため最後まで熱心な懇談がつづき、いかに患者の人たちが苦しみの中で療養を送り、それだけ組合を頼りにしているかが伺いしることが出来たのは今後のために大きな収穫だつたろうと思われた。

組合長の挨拶に続き、天領病院の内科部長菅原先生から詳細に亘る治療と予防の方法が述べられたのに徹聴する）懇談会に入つたが、切々たる問題が打ちあけられた主なものを挙げてみると……

硅肺の治療法を説明する菅原内科部長

病床を確保して呉れ

▼傷害年金よりの差引きについてけい肺法制定のときに阿具根参議からけい肺年金と傷害年金を同時に貰えるということを聞いていた。これが厚生年金法によるというづれか一つしか貰えないということですが

▼八代労災病院の患者用として三十病床確保については、いま八代は三十病床を確保した病棟はない。これについて明確にして貰いたい

▼入院患者の主食一日三合の内地米提出についてマスで計るのではなくして目方で計つて貰いたい目減りがないため。また内地米だけと限定されると家族のものが外米ばかり食べることになつて、困つている。内地米だけということではなくして配給米で提出して貰いたい

検査を二回に

▼平均賃金の出し方について現在の協定書では認定時において相違が非常に大きいので最低平均賃金制度を設けて貰いたい。

▼定期精密検査が現在年に一回だが、これを二回にして貰いたい

▼従来けい肺一度ということで診断を受けていたのが、つぎの検査では精密検査の必要はないという医師の通告で検査を受けないようになつたときは、その理由を本人に明確に話して頂きたい。

▼八代労災病院の家族見舞について現在の協定書では二回ですがそれを年に十回程度ひろげて貰いたい。

▼小倉労災病院での精密検査は現在軍需業所病院で不明確であつた人が小倉の労災病院について診断の結果、けい肺と認定されるこの場合会社は協定にもとづくけい肺として認めるかどうか。

早期解決に努力する

等々どれ一つとつても悲惨な患者生活の切実さがともつていないものはなかつた。

なおこの翌々日、厚生部では天領病院（外傷性せき髄障害者五名）と山の上分院（内科）を訪ねて苦情に当つたが、みんなけい肺と同じく現状については全く似通つていて、この中でとくに入替採用について心配されていたのや、入院患者の主食（内地米、けい肺懇談会と同様）、労災病院の施設通りに施設を完備して貰いたいという要望であつた。

以上のような通りだが、組合としては期待に沿うように今後研究して、つき進むことが約束された。

高田厚生部長談

厚生部としては今後八代労災病院、天領病院、山の上分院などに出向いて患者と面接し苦情を自分がその患者だという気持で直ちに解決して行きたいと思つている。

染料で無茶な首切
大地評共斗に立ち上る

染料の労働組合で首切闘争が展開されている。それは春期闘争の際、五郎丸執行委員が「三月三日のW支部ストライキの際、係長に暴行強迫を加えた為、W工場が停止し、Oの電解槽が破壊した」という理由で就業規則違反として懲戒解雇を組合に申入れて来た。この事実については組合は、W工場のストライキは組合の指令に基き決行され、会社側が操業停止したもので、暴行などとは大ゲサ過ぎる。電解槽が破壊したというがこれは消耗品で、カクマクが、会社の技術的な不手際から破れたもので、この責任を追及するなら会社であるといつている。

関連し、今頃になつて、あのときは就業規則に違反しているから首を切ります。といつて来たかということについて、染料の組合員は「これは、あきらかに会社のまきかえしだ。会社が今まで賃上げや期末手当で、組合からおされ気味できているのを、こゝで一つ、もり返えそうと、まずそのてはじめに、まじめで良心的な執行委員をやり玉にあげて来たのにちがいない。これは、一個人の問題でなく、組織の問題だこゝで、ふんばらんなら必ず、きつと将来、次々に手をうつてくるに違いない。今度こそ、組合は団結すべきだ。そして、実力をうつてもクビ切りをハネ返すべきだ」といつた。

三染の組合では七月三日緊急代議員会を開いて、五郎丸執行委員の首切りを斗うことは「組織と権利を守る」斗いである事を確認し、実力を以つて不当断圧と斗うことを決定した。

われわれの問題だ

大地評でもこの首切闘争は、大牟田全労働者の問題で、大牟田の労働者の中から「ひとりのクビ切りも許すな」という合言葉で闘争を支援することになつた。

百十三日の激しい首切闘争を斗い抜いたわれわれ三鉱労組でも七月五日の中央賃金委員会で、この首切闘争に対して全面的な支援を送ることを決定した。

最後迄頑張る
五郎丸執行員語る

二十三日、会社から非公式に懲戒解雇の申し入れがあり、私はびつくりしました。

懲戒解雇の理由にしても事実無根であり、これは明らかに組合運動に対する弾圧であります。私は皆様方の御協力に感謝し、不当なる懲戒解雇に対して、会社が撤回するまで頑張ります。

（五郎丸氏）

グチはもう御免だ
患者さん達の不在投票

参議院選挙の審判もいよいよ近まつた。八日の投票を前に不在投票が行われているが七月一日荒尾市の高岡病院では午前中から始められた。

この病院には三鉱の組合員も多数入院しているが、投票を終つてほつと安ずしている一ときを利用して投票後の感想をきいて廻つた。

誰が味方だ

塚本さん（四山）

いつも選挙のたびに思うことは後でグチをいう人が多いことです。そこで今度こそ今度こそと思い選挙を迎えていますが、本当に今回は岐路に立つていると痛々感じました。労働者の運命は今度の選挙で決定すると私は考えています。労働者として考えるときに、どの政党が労働者に味方してくれるかということは、ハツキリしている。最後の土壇場は革新政党以外には何もない。私はこういう考えで今日の投票を終えました。働くものは皆んな同じだと確認しています。

汚職の代りに社会保障を

Oさん

私たちみたいに入院生活をしていると、いつも生活のことが頭一杯で、これが、どれだけ病気の回復に悪い影響を与えるかということは十分判つていますがどうすることも出来ません。社会保障制度の確立が一日も早く行われることが唯一の望みです保守党はこういうことはそつちのけで汚職や再軍備に一生懸命ですし、私たちはどうしても、働く者の味方になつて政治をしてくれる革新政党以外に、期待をかけることはできません。

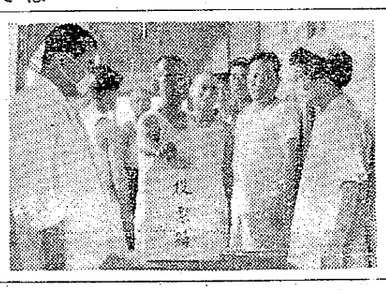
労働者であつて、保守に票を入れる人の気持が判りません。

確信をもつて投票した

Aさん

全く病人になるとメツキリ気が弱くなつてしまいます。

だれに投票するかは私たち労働者はハツキリ前から決まつているし何のためらいもありませんでした。



早く働くものゝ世の中がこなければ私たちみたいな病人は後を絶たないし、治りも早くなりません。以前はそう考えませんでしたが、最近はつくづく考えます。

元気で訴えたい

E

病人になると全く悲しいですよ、体が第二云うことを聞かんしこんな大切なときには、自分から外に飛び出して労働者のために選挙の大事なことを訴えて一票でも多く、私たちの味方である革新政府の票を増やさねばならないのに、考えるばかりで行動ができません。

などの顔も確信に満ちた顔で投票を済ませていて、開票の行方をじつと見守つている。全くである。後でいくら後悔してもはじまらない。われわれの運命を決するこの大事な票は有効につかわねば、返つてわれわれを死滅させることになるのだ。

（写真は病院での不在投票）

"父ちやんお元氣で"
主婦・煙草と花で坑口慰問

金鉱安全週間が七月一日から七日までの間行われていますが、四山支部主婦会は六月二十九日、分会長以上の役員会議を開き、七月二時まで行われた。

この日慰問にみえた主婦会の人たちから感想を聞いてみたら——

Aさん　私はじめて坑口慰問に行き、坑口の方々の苦労を思うと、涙が出てきました。

Bさん　今日は役員の方、または班長さんがきておりますが、一般の人にも慰問をして貰つて身近に接することが、一番安全の道だと思います。

Cさん　若い頭によくやることだが、これを残しておけば悪くなるもう一奮発してこれだけ平げてしまおうと夕食をすました後、残りの西瓜やソーメン等を詰込んで翌日腹痛で苦しむというような、まるで胃腸をゴミ箱同様に心得、わずかの食物を惜しんで大切な身体を台なしにする等は若気の至りとはいえ誠に馬鹿げ

ば金にならない。マイト発破後また煙があるのにマスクもつけずに切羽に飛び込むなど元気な時は無理してもそれほど身体に感じないが、日がすぎればその時の無理が一生たゝつて来る。その時の収入がどれだけ多くてもその後身体を悪くしてからの物心両面の損害を考えれば殺べものにならない。後からあわてはもつと考えなくてはならない点があるようです。出勤するときはできれば家中揃つて「いつていらつしやい」帰つてきたときには「お帰りなさい」などと温い気持で送り迎えをしてやりたいと思います。

また帰つてくるときには家の中も掃除して気持よく迎えてやり、とくに今から暑くなつて睡眠がとり難くなるので、十分気をつ

夏季文芸募集締切迫る!!
締切は二十日　奮つて御投稿下さい。